

瑞浪市の事業効果検証

総合戦略
推進会議 委員らが意見交換

瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の本年度第1回会議が、市役所で開かれ、昨年度実施した12事業のうち、高齢者就業機会確保や学校ICT活用推進など6事業について効果を検証した。

同会議委員は瑞浪商工会議所や麗澤瑞浪高校、東濃信用金庫などの代表者9人で構成。2015年10月に市が策定した同総合戦略について毎年、事業ごとに評価を行い、計画の見直しを検討している。

会議で事業の概要が説明された後、市担当職員が結果を報告。委員から「シルバー人材センターの加入率を増やすための具体策は」「コロナに感染した児

童はオンラインで授業を受けられるが、コミュニケーションは希薄になる」などの意見が出された。残りの6事業は8月末に予定している第2回会議で検証を行う。(服部潤)



昨年度に実施した事業を話し合う委員
＝瑞浪市役所